

2021年12月1日

日本アレルギー学会「サノフィ優秀論文賞」

募集要項

日本アレルギー学会

選考推薦委員会

Allergology International (AI) 編集委員会

日本アレルギー学会は、この度サノフィ株式会社と共同で、「サノフィ優秀論文賞」（一般部門、Allergology International 誌部門）を設立することに致しました。当該賞は、アトピー性皮膚炎・喘息・副鼻腔炎を対象疾患領域として研究教育において優れた業績を挙げている研究者、診療科・研究室を表彰し、該当者・該当診療科・研究室の更なる発展を支援する目的で副賞を授与する制度で、この活動を通じ本学会とサノフィ株式会社が日本の当該領域における学術研究の発展へ貢献することを目的としています。

つきましては、2022年1月1日より1月31日までの期間、下記の要領で「サノフィ優秀論文賞」を公募することといたしました。学会員の皆様には、ふるってご応募いただきますようお願いいたします。

申請条件（申請者・応募論文等）

- 申請者は少なくとも2年以上の会員歴（2年間の会費納入履歴あり）を有する日本アレルギー学会会員に限る。年齢、職位等については問わない。
- 応募論文は2019年、2020年、2021年に学術雑誌上に発表された（Articles in press および acceptされた論文を含む）欧文原著論文とする（総説論文は除外とする）。アトピー性皮膚炎・喘息・副鼻腔炎のいずれかを対象疾患とした論文とし、研究内容は、基礎研究、臨床研究について問わない。Allergology International 誌部門の場合は Allergology International 誌上に発表された original article、あるいは letter to editor を対象とする。
- 応募は「サノフィ優秀論文賞」で共通とする。一般部門の選から漏れ、Allergology International 誌部門の資格を有する応募論文の中から同部門受賞論文を選定する。
- 申請者の資格として、応募論文の筆頭著者か責任著者（corresponding author）のいずれかとする。各施設の診療科・研究室から1件のみの応募とする。筆頭著者と責任著者の所属診療科・研究室が異なる場合においても、同一論文については1件のみの応募を可とする。これらに反する場合、失格とする。
- 申請者の所属施設は、イ）国（国立大学法人を含む）、地方公共団体（公立大学法人を含む）、及び学校法人が運営する大学またはそれに相当する高等教育機関の医歯薬学系学部またはその附属病院、

ロ) 法令上、研究機能を併せ有する病院(国立病院機構傘下の臨床研究センター、臨床研究部など)、
ハ) 医療機関を開設する法人の研究部門(研究所)とする。また、副賞の賞金を受け入れて財務管理が可能な施設とする。

公募期間

2022年1月1日～1月31日

応募の要領

- 応募論文の概要(背景、内容、意義を600字以内にまとめる)を記入した応募用紙と応募論文のPDFファイルの2点を下記あて提出してください。

* 応募論文のPDFファイルは、雑誌に掲載された応募論文のPDF(Articles in pressを含む)、またはacceptされた論文の最終原稿のPDFです。後者については、必ず雑誌から送付されたDecision Letterをつけ添えて下さい。

<応募書類送付先>

〒110-0005 東京都台東区上野1-13-3 MYビル4階

日本アレルギー学会事務局 「サノフィ優秀論文賞」宛

TEL: 03-5807-1701 FAX: 03-5807-1702

E-mail: info@jsaweb.jp

* 応募用紙はPDFファイルにして、応募論文のPDFとともに上記あてメールでご送付下さい。

* ご応募のメールについては、2-3日以内に必ず受領メールを返信いたします。返信がない場合は、恐れいりますが、事務局あてお問合せ下さい。

選考および副賞について

- 当該賞の選考については、日本アレルギー学会選考推薦委員会、ならびにAI編集委員会が行い、最終的には理事会の承認を得て決定する。募集条件に加えて、① 対象領域における応募論文の新規性、独自性、② 応募論文内容の妥当性、③ 応募論文で実施された研究の将来性を総合的に考慮して行う。
- 受賞者、受賞論文については、学会ホームページ、アレルギー誌において発表し、副賞として一般部門では50万円/件、Allergology International誌部門では20万円/件を授与する。受賞件数は一般部門では25件程度、Allergology International誌部門では10件程度。副賞は受賞者の所属施設に研究奨励金として振り込み、受賞者個人、あるいは所属教室の研究教育の推進に役立たせる。ただし、臨床研究に用いることはできない。